（公社）日本技術士会北陸本部　「第6回防災講演会」

北陸地方の大規模災害から学ぶ教訓

北陸地方の豪雨災害から学ぶ教訓

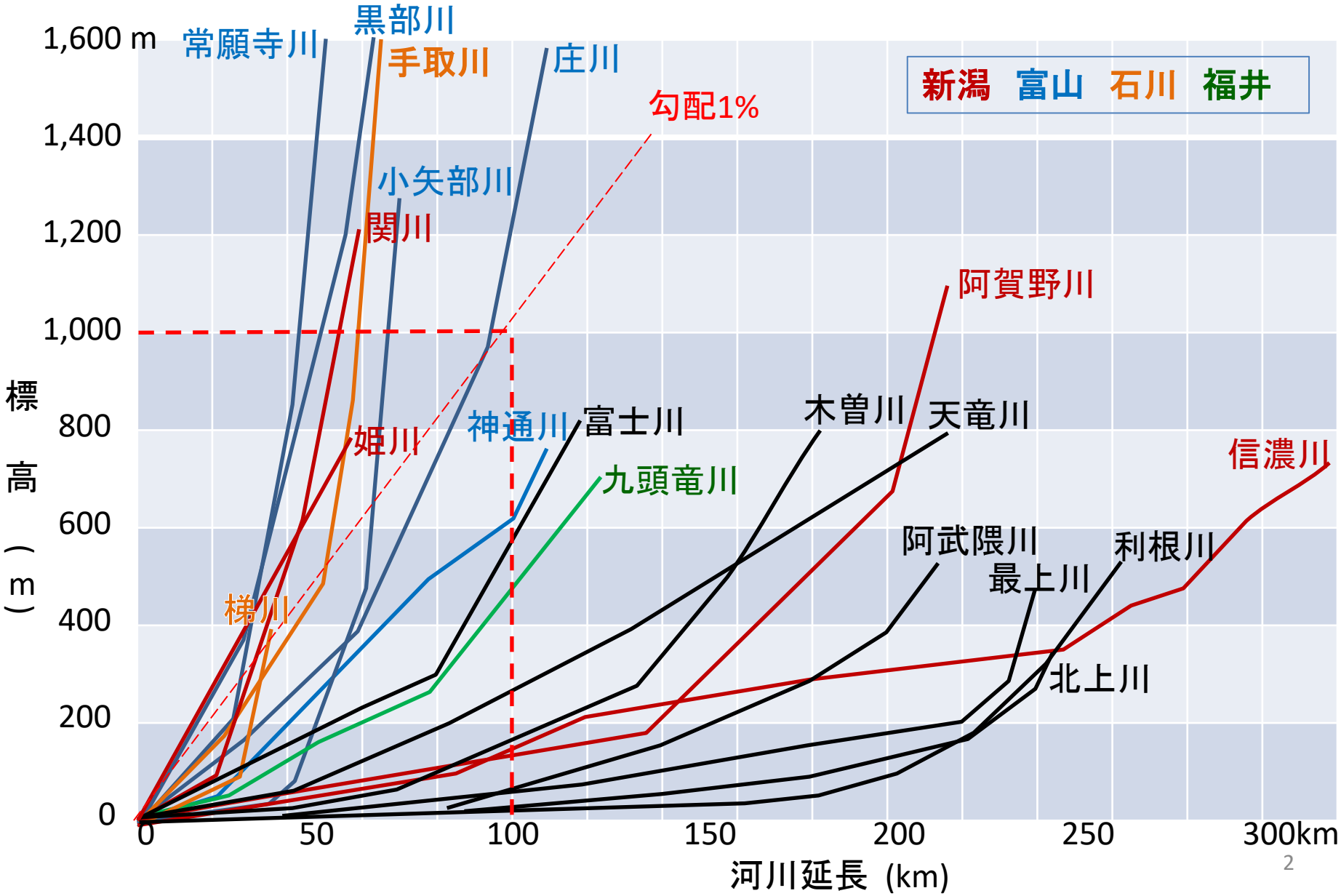
～ 1人でもできる防災対策 ～

2019年2月13日（水）

（公社）日本技術士会北陸本部
防災委員会 豪雨ワーキンググループ

今度　充之・村田　佳久・川崎　敏明

北陸の主要河川は、阿賀野川、信濃川を除き急流河川である。



・H16年7.13新潟豪雨の犠牲者のほとんどは70歳以上の高齢者
・H16台風23号では神通川が富山市街地で氾濫しそうになった

北陸4県における近年の主な水害

発生年	水害名	死者 不明者	家屋など被害	被害額
1998	8.4水害 (新潟・下越集中豪雨災害)	1人	家屋全壊3 浸水：床上2, 200, 床下2, 500	421億円 (農林, 土木)
2004	7.13新潟豪雨 (信濃川, 阿賀野川流域)	16人	家屋全壊70, 半壊5,354 浸水:床上2,149, 床下6,208	569億円 (公共, 土木)
	H16年福井豪雨 (足羽川)	5人	家屋全壊66, 半壊135 浸水:床上4,052, 床下9,674	600億円
	H16台風23号 (富山県　内水氾濫)	0	浸水:床上25, 床下141	
2008	H20浅野川水害 (石川県金沢市　浅野川)	0	家屋全壊2, 半壊8, 浸水:床上507, 床下1,476	61億円(農林・土木施設等)
2011	H23新潟・福島豪雨 (信濃川, 阿賀野川流域)	6人	家屋全壊46, 半壊442 浸水:床上1,519, 床下6,904	1011億円 (公共, 一般)

北陸における平成30年度の災害と被害

発生年	水害名 (県)	死者 不明者	家屋など被害	施設被害
2018	平成30年7月豪雨(新潟県)		なし	なし
	平成30年7月豪雨(富山県)		一部損壊1 床下浸水3	土石流等1 崖崩れ1 護岸損傷3他8件
	平成30年7月豪雨(石川県)		床下浸水9	崖崩れ1 護岸損傷1 道路被害9
	平成30年7月豪雨(福井県)		一部損壊4 床上浸水3　床下18	護岸損傷5件 ダム法面損傷1
2018	台風21号(新潟県)		半壊1　一部損壊91	道路・河川無し
	台風21号(富山県)		半壊6　一部損壊25	道路・河川8
	台風21号(石川県)		一部損壊35　床下1	道路・河川などに被害
	台風21号(福井県)		全壊2　一部損壊11	道路・河川無し

内閣府資料による

■平成16年7月新潟・福島豪雨

11:40 までに避難勧告を発令　13:10 五十嵐川左岸決壊。

死者16人のうち三条市で亡くなった7人はほとんど自宅及び自宅の周辺で亡くなっており、それらはすべて三条市五十嵐川の堤防決壊によるものと推定されている。

■平成16年福井豪雨　福井市内では死者ゼロ

・災害は休日の午前中で在宅者が多く、避難勧告 (17日8:10)うけて、高齢者などの災害時要援護者を自宅2階やその他の安全な場所に避難させることができた。しかし、避難者の9割近くが膝以上の水位で避難する危険な状況。

■平成30年7月豪雨による人的被害(全国：参考)

- 土砂災害による犠牲者が過半数
- 非流失の屋内で洪水死者が多数発生　倉敷市真備で40人以上
  いずれも3m以上の深い浸水箇所
- 屋外での犠牲者68人中30人が車で移動中
- 避難行動ありの犠牲者が多い
- 犠牲者の多くは地形的に危険性のある場所で発生

平成30年7月豪雨による人的被害等についての調査(速報)

治水対策の現状

- 計画規模　大河川：1/100年～1/150年、中小河川：1/10年～1/30年
- 整　備　率　大河川：3割～9割。中小河川：1/10年の暫定計画に対し約5割
- 整備完了　20～30年後

北陸の主要河川(国交省管理)の整備状況

総便益：被害防止効果

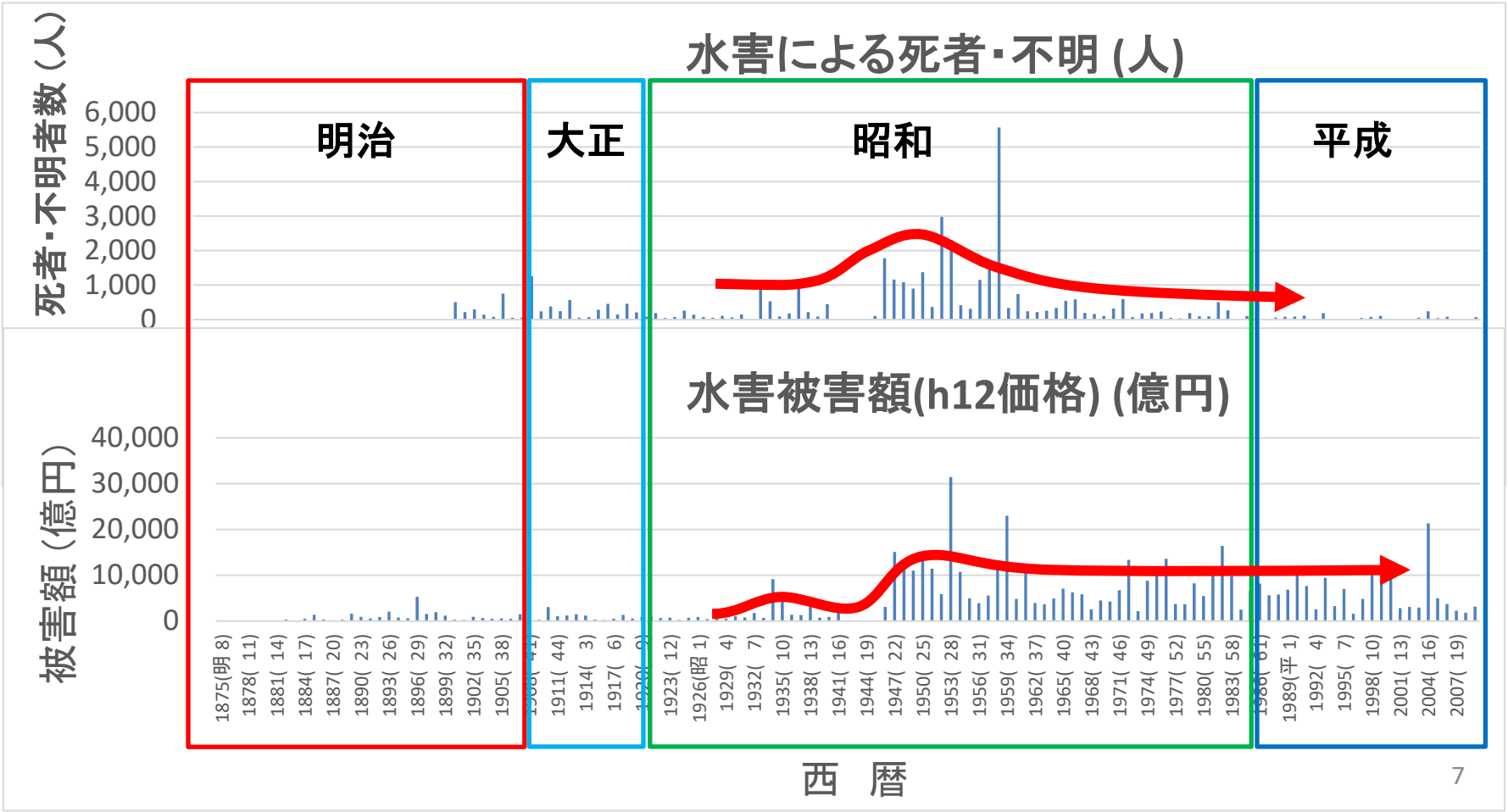
河川名）	計画規模（年）	ピーク流量（㎥/s）	C. 事業費（億円）	B. 総便益（億円）	B/C	整備率
信濃川　（新潟）	1/150	11,000(小千谷)	8,495	161,837	19.1	51%(h19)
常願寺川（富山）	1/150	4,600(瓶岩)	992	6,667	6.7	93%(h17)
神通川　（富山）	1/150	7,700(神通大橋)	195	10,148	52.2	70%(h24)
梯　川　（石川）	1/100	1,700(小松大橋)	481	1,195	24.8	30%(h24)
九頭竜川（福井）	1/150	9,200	507	3,671	7.24	36%(h23)

県管理河川の整備率
- ●新潟県　52%（H21.3）　HPより
- ●富山県　54.7%（H22）　HPより
- ●石川県　44%（H23.3）　石川の土木2011より
- ●福井県　42.5%（H23）　ヒアリングによる

（県管理の中小河川では概ね1/10年の洪水に対する整備率）

治水対策の効果

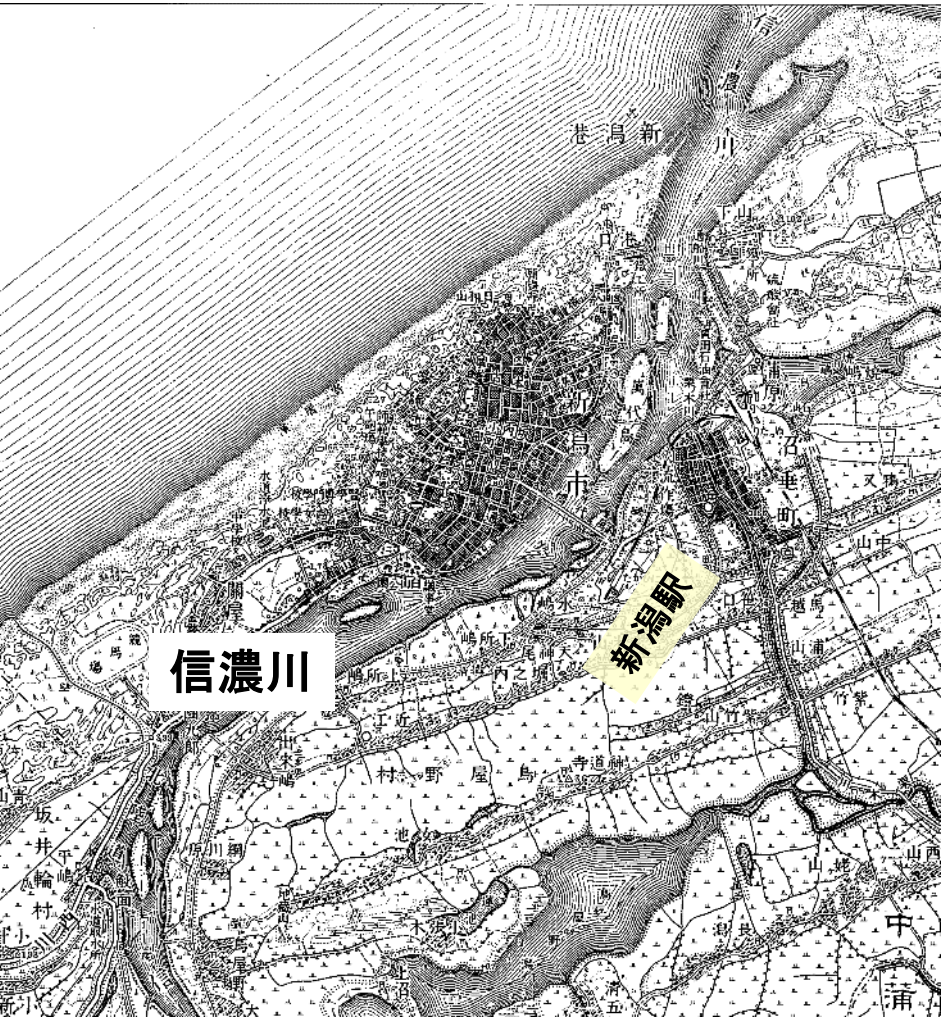
死者数は確実に減少している
しかし、被害額はさほど減少していない　　何故か?



都市の変貌

新潟市街地

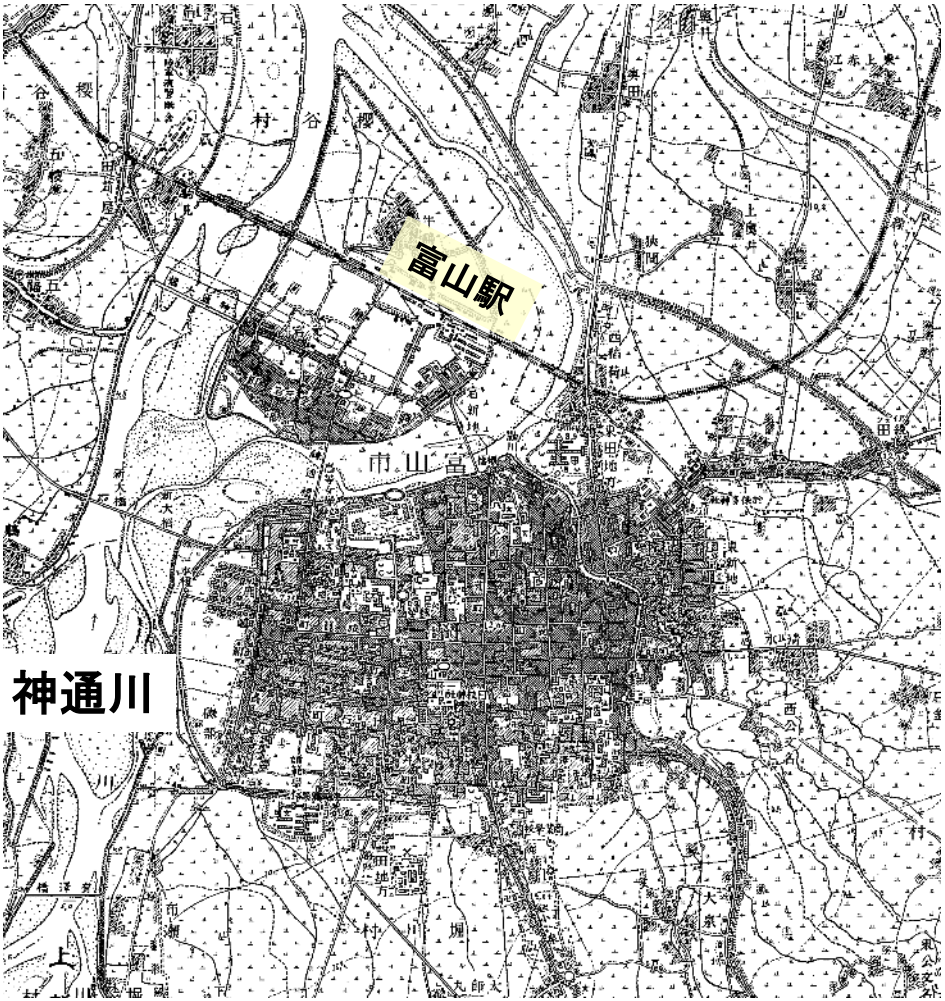
地図で読み解く日本の地域変貌より



明治44年

平成15年

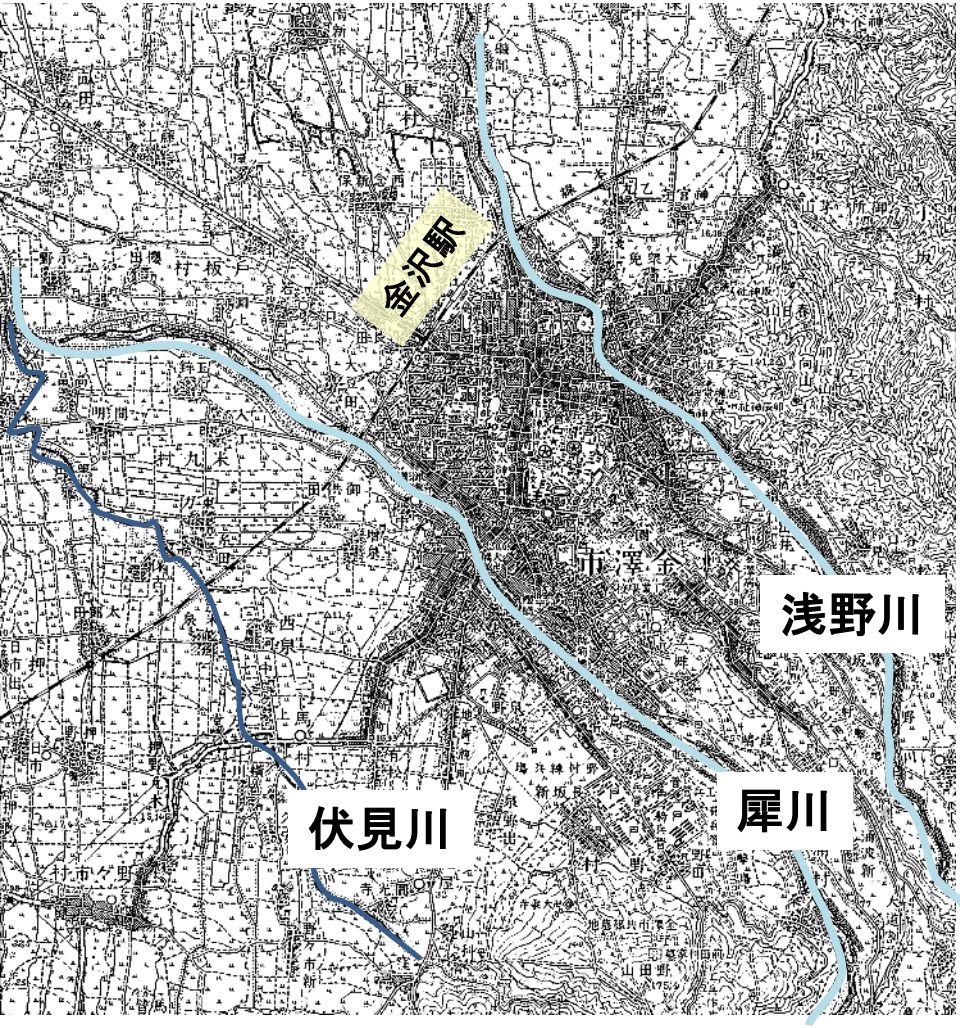
富山市街地



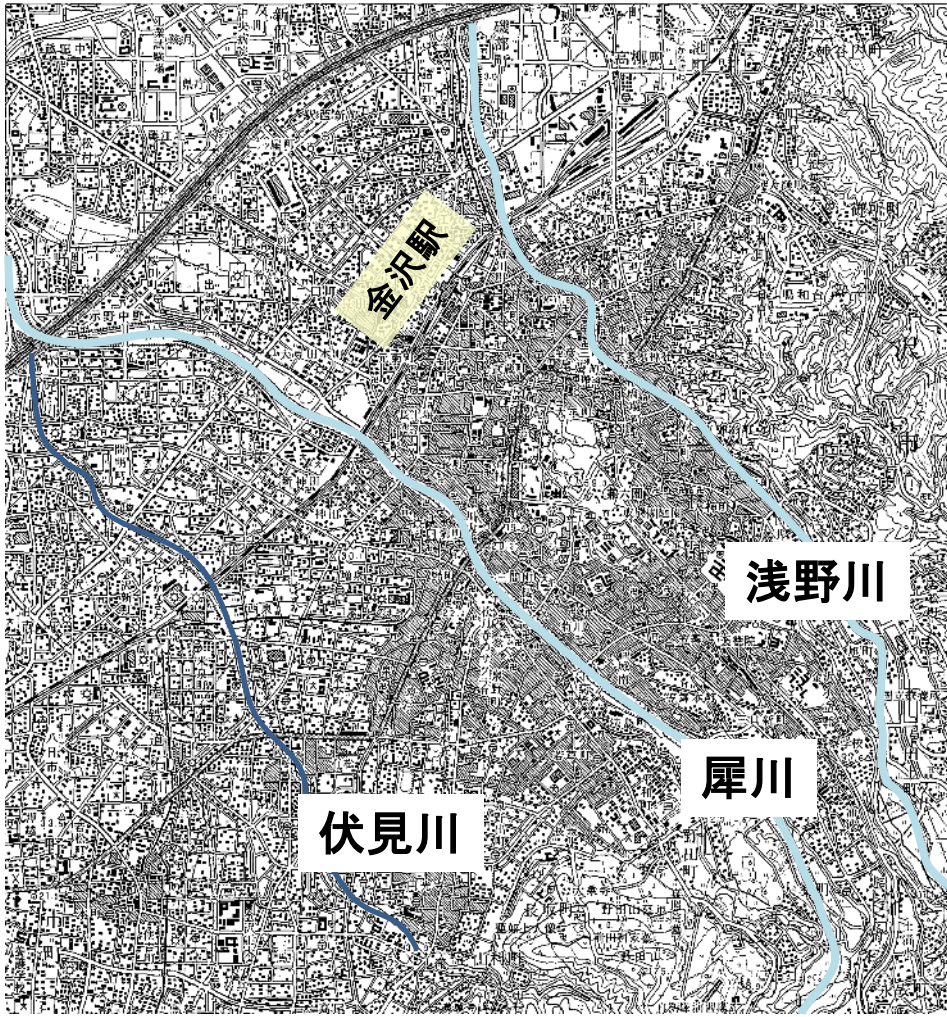
明治43年

平成18年

金沢市街地

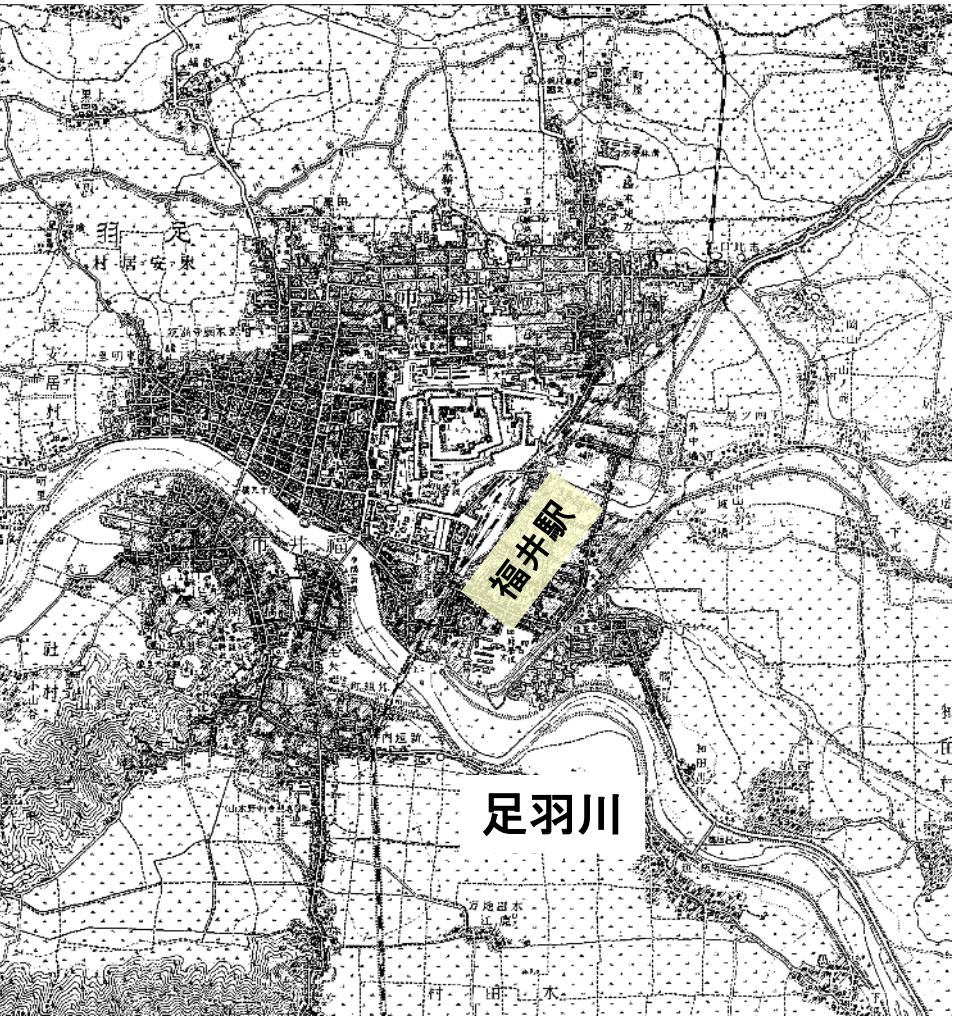


明治42年



平成18年

福井市街地



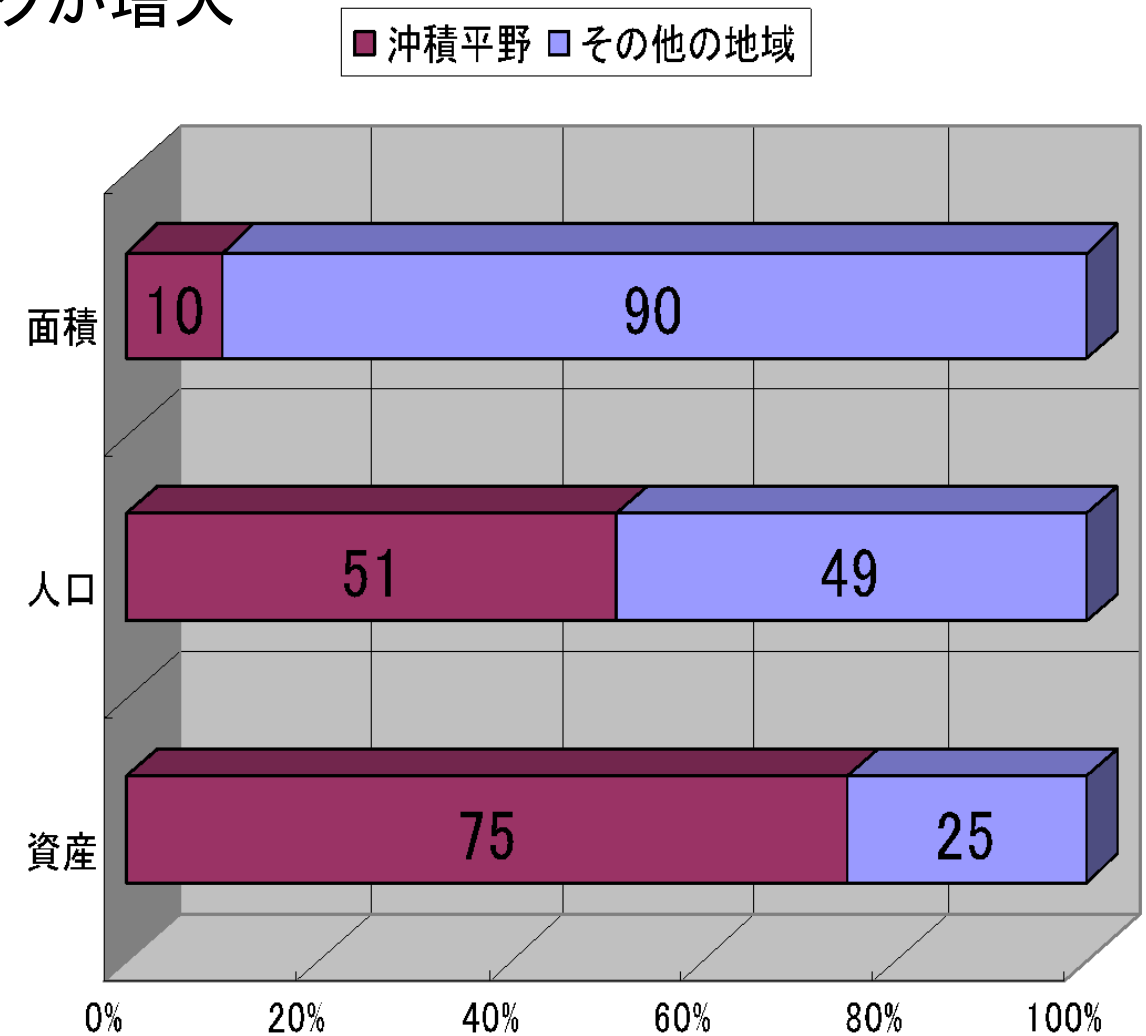
明治42年

平成17年

都市が膨張して水害リスクが増大

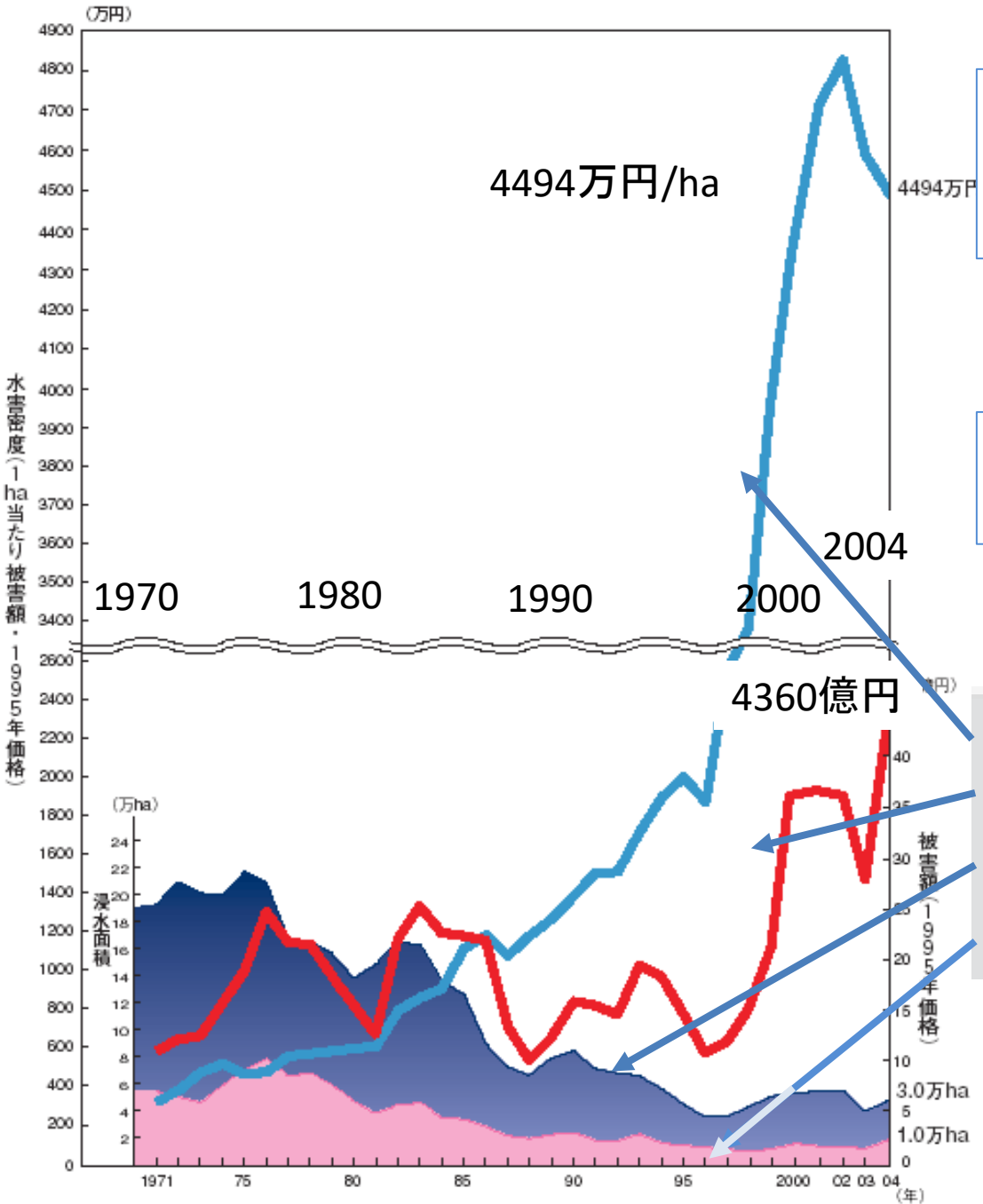
- 高度成長に伴う人口増加
  モータリーゼーション進展
  核家族化
  ➡　市街地が拡大

- 国土面積の１０％にあたる
  沖積平野に
  　人口の51%
  　資産の75%
  が集積



河川氾濫地域における人口・資産の比率%

出典:国土交通省河川局資料より
(沖積平野:河川の堆積作用によりできた平野)



- 浸水面積は減少したが
- 面積当たり被害額が増加
- 被害額も増加傾向

水害リスクの増大に治水対策が追い付いていない

・堤防等のハード**整備に長い年月・巨額の投資**が必要

・異常気象にともなう**大型台風・ゲリラ豪雨の多発**

※雨量50mm以上の年間降雨回数　20年前の1.4倍

S51～63：平均168回、H1～H10：平均184回、H11～20：平均231回

・少子高齢化、人口減少に伴う**投資余力の低下**

治水事業(ハード対策) だけでは人命・財産は守れない

ソフト対策の取組みを強化

「自助」　自らの命、家族の**命は自分で守る**

「共助」　隣近所が助け合って**地域の安全を守る**

「公助」　行政が個人や地域の**取組みを支援**する

■治水能力を超える部分をソフト対策で補う

■避難と備えにより人命を救い、資産の被害を低減する

ハード対策
氾濫、破堤を構造物で防ぐ

- ●河川改修
  （流下能力向上）
- ●治水ダム建設
  （洪水調整）
- ●水門建設
  （水位調整）
- ●排水機場建設
  （内水排除）

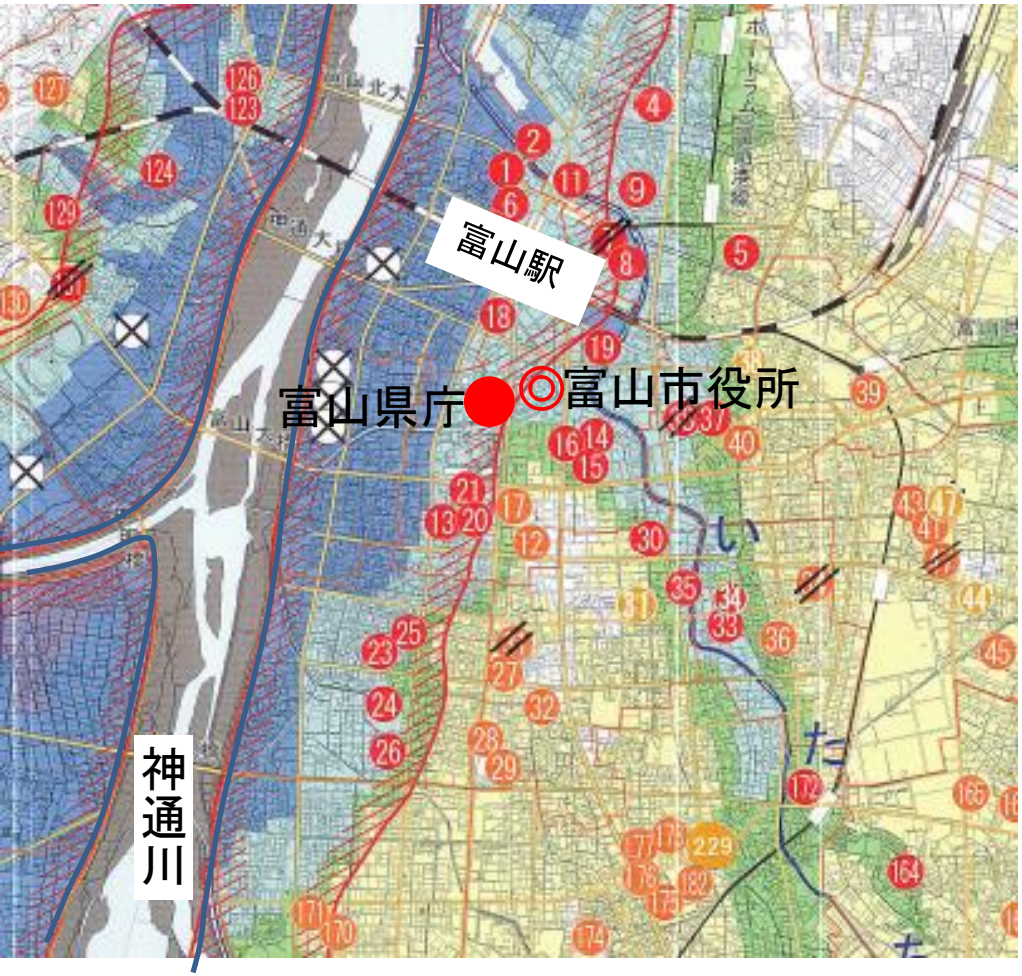
＋

ソフト対策
避難、水防活動

- ●洪水ハザードマップ等の整備と周知
  ＊水防法 :h13.7改正
- ●河川の水位情報などの提供
- ●行政機関による情報伝達、避難訓練
- ●河川管理者の水防協力、水防体制充実、施設の維持管理等
  ＊水防法: h25.7 改正
- ●自主防災組織の活性化
  ＊災害対策基本法改正:h25　地区防災計画制度

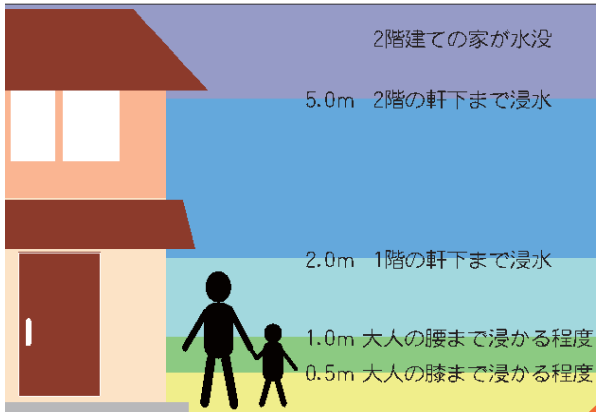
新潟市街　洪水ハザードマップ

富山市街部　洪水ハザードマップ

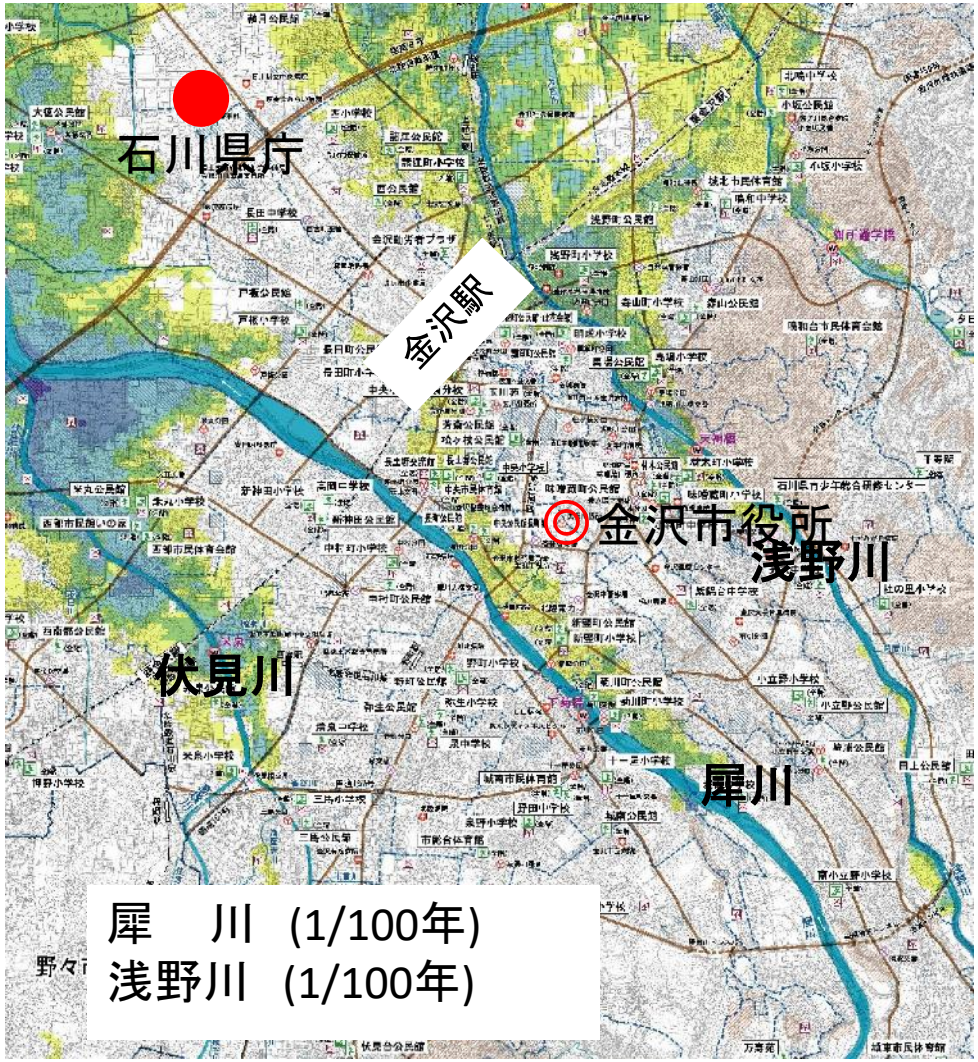


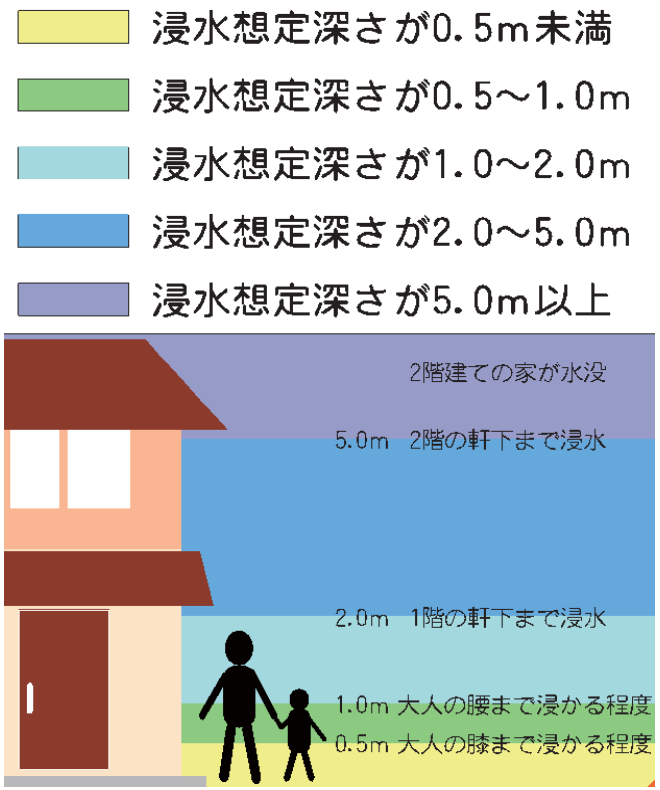
神通川　(1/150年)

●避難所(二階以上利用可)
●避難所(全階利用可)
緊急避難地域
浸水想定深さが0.5m未満
浸水想定深さが0.5～1.0m
浸水想定深さが1.0～2.0m
浸水想定深さが2.0～5.0m
浸水想定深さが5.0m以上



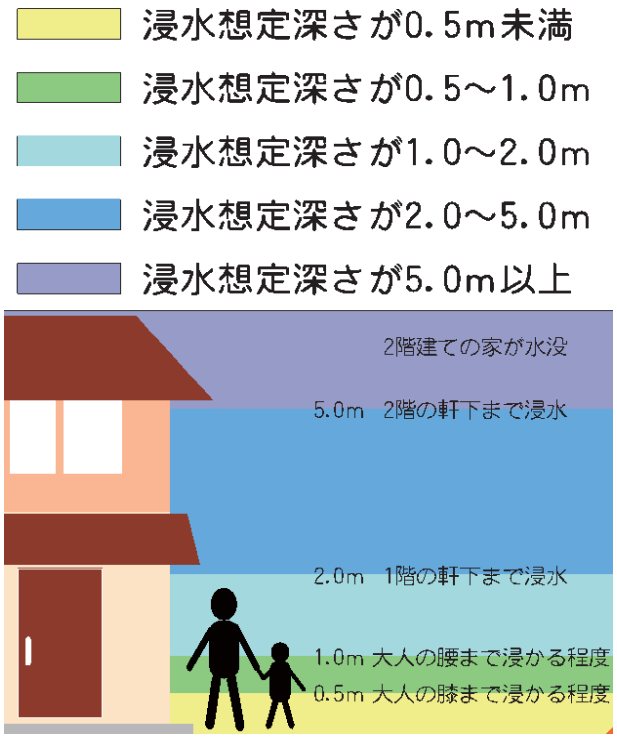
金沢市街部　洪水ハザードマップ





福井市街部　洪水ハザードマップ

足羽川　(1/150年)



ハザードマップを見て心配になること

■市役所も浸水区域内にある…

防災拠点として機能するのか?
※鬼怒川の氾濫では常総市役所で非常電源が故障?!

■避難所の多くが浸水区域にある…

避難所が孤立しないか?
※避難所の条件の一つ、
「車両などによる輸送が比較的容易」を満たさない?

■浸水区域があまりにも広域…

避難者を受け入れる容量があるのか?
スペース、備蓄、マンパワー、情報システムは?

■ハザードマップに多くの避難情報が盛り込まれているが…

住民に説明されているか?
住民は理解しているか?
そもそも、ハザードマップを知っている?
※大阪市での調査(2009年)
ハザードマップを知っている:3割　　持っている:1割

自主防災組織活動の活性化

「向こう三軒両隣」➡「隣は何をする人ぞ」

少子高齢化、核家族化、単身世帯増加により
地縁，血縁による親密な人間関係が崩壊，
地域，近隣住民との結びつきの希薄化により
旧来型の地域コミュニティの衰退

↓

自然災害，凶悪犯罪等多発による不安から，
地域・近隣との結びつきの必要性が再認識され
自主防災組織が活動を始める

自主防災組織活動カバー率が増加、法整備によりバックアップも

新潟県　H15.4：22.7%　⇒　H25.4：78.7%　10年で3倍

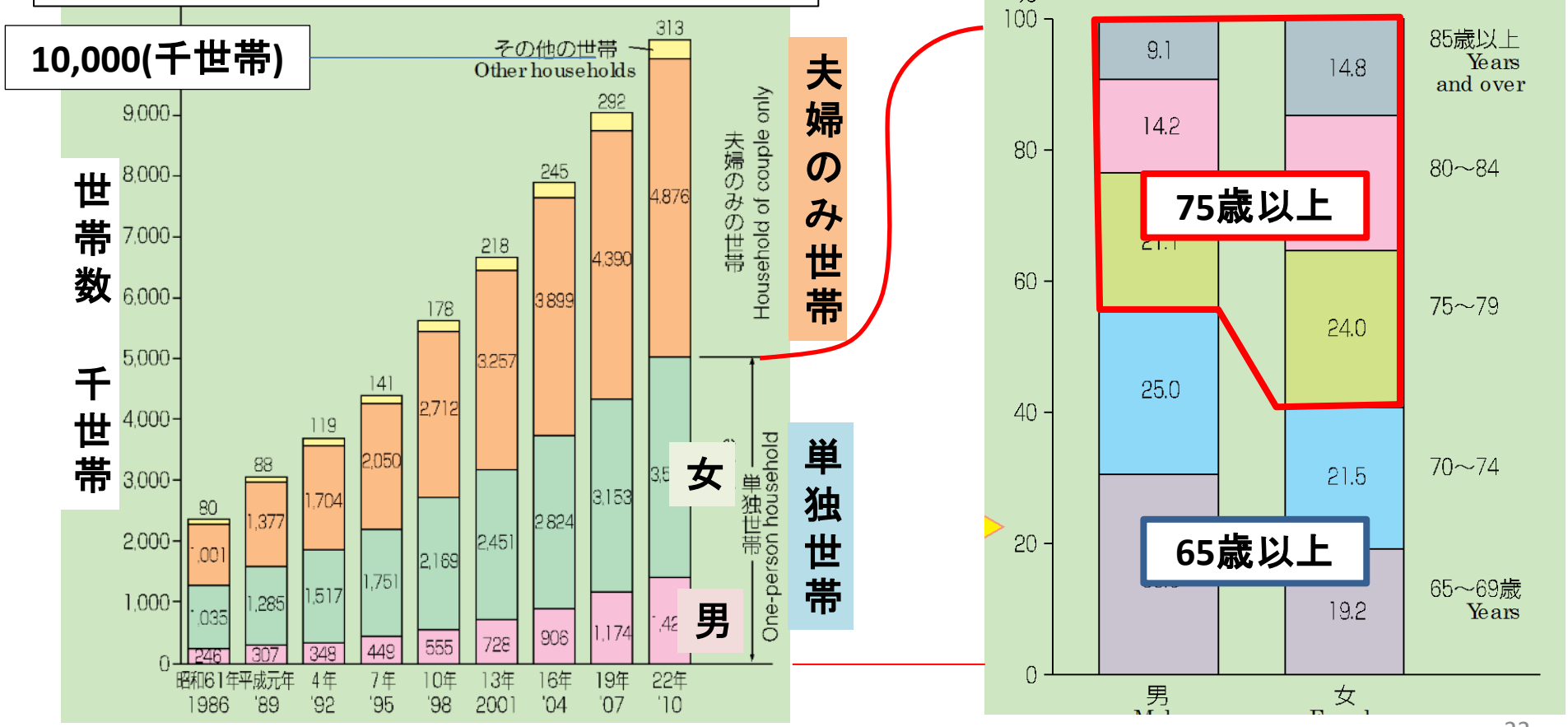
富山県(H24.1)：69%　石川県(〃)：76%　福井県(〃)：86%

自主防災組織の問題点

北陸4県の平均世帯人数は2.75人　1,2人世帯は52%

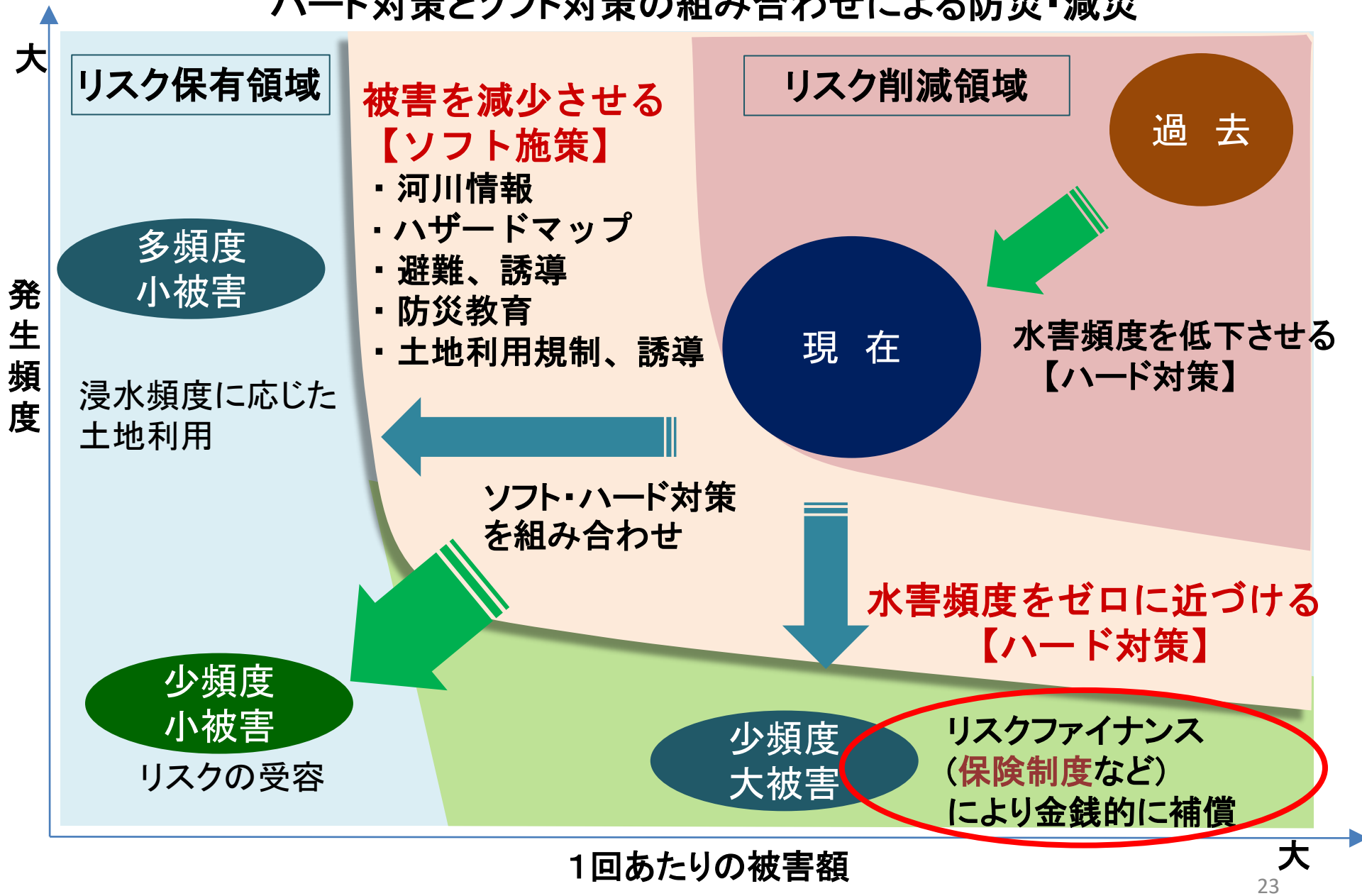
高齢者や要援護者が増加する
➡　負担の増加と組織の担い手不足

世帯構造別にみた高齢者世帯数の年次推移



平成22年国民生活基礎調査報告書　グラフでみる世帯の状況より

ハード対策とソフト対策の組み合わせによる防災・減災



「今後の治水対策の方向性に関する研究」(財)国土技術研究センター)一部加筆

■土地利用の誘導

・災害危険区域指定と開発規制　〈水平誘導〉
※例：札幌、名古屋、宮崎市
・宅地、道路高さ規制　〈垂直誘導〉

■避難の安全確保

・避難所の嵩上げ、非常時ライフライン確保
・避難時の危険回避
避難経路の安全確保　避難のタイミング
・避難につながる避難指示
身の危険が迫るまで避難せず、その時は手遅れ
※避難指示　➡　避難命令
東日本大震災の大津波警報時に茨城県大洗町
「緊急避難命令　大至急高台に避難せよ」で死者ゼロ
・タイムライン（事前防災行動計画）導入
※アメリカのニュージャージー州で成果
4000棟が倒壊するもタイムラインの運用で人的被害がゼロ

タイムライン(事前防災計画)

「いつ、だれが、何を」を計画する。各機関で取り組み始めた。

	台風の上陸まで	気象情報等	国土交通省	交通サービス	市町村	住民
台風上陸の可能性	3日前	○台風予報 ○台風に関する記者会見	体制の早期構築 ○連絡体制等の確認 ○協力機関の体制確認	運行停止の可能性を早めに周知 ○交通サービス運行停止予告	広域避難の可能性を早めに周知 ○広域避難体制の確認・周知	○防災用品の準備
災害発生の危険性	1日前	○台風に関する記者会見（特別警報発表の可能性） ○大雨・洪水等警報 ○はん濫警戒情報	○リエゾンの派遣 ○所管施設の巡視	○運行停止手順の確認・公表	早期に広域避難を開始 ○広域避難勧告・指示 ○広域避難者の誘導・受入	○広域避難の開始
台風接近	半日前	○大雨・暴風・高潮等特別警報			台風上陸前に避難を完了	
		○はん濫危険情報	○市町村長へ事態切迫状況の伝達	○運行停止 ○施設保全・待避終了	○避難勧告・指示 早期復旧・再開が可能となるように運行停止	○屋内安全確保
台風上陸	0時間	○はん濫発生情報	○TEC-FORCE活動（道路啓開等） ○被害状況の把握 ○緊急輸送路の確保	○被害状況の把握 ○施設点検 ○運行見通しの公表	○支援の要請	

※水災害に関する防災・減災対策本部資料を簡略化

■市民への防災教育

・継続教育・訓練の半強制化も必要

ハザードマップ、防災情報、避難情報など

※災害対策基本法7条3項

「住民は･･備蓄･･訓練への参加･･

教訓の伝承･･努めなければならない」

１人でできる防災対策　　自分の命を守るために

■安全な場所に住む　（被災リスクを回避）

浸水域以外に住む
せめて、
・浸水深の浅い地域に住む
・鉄筋コンクリートの建物なら浸水想定深さより上の階に住む

■安全な時間帯に準備を済ませて避難する（安全確実に非難）

「わが家のタイムライン」をつくり、準備を整えて確実に避難できるように備える

■危険な場所へ行かない　（移動中の被災を防止）

河川のそば、浸水地域、アンダーパス、冠水した道路を通らない

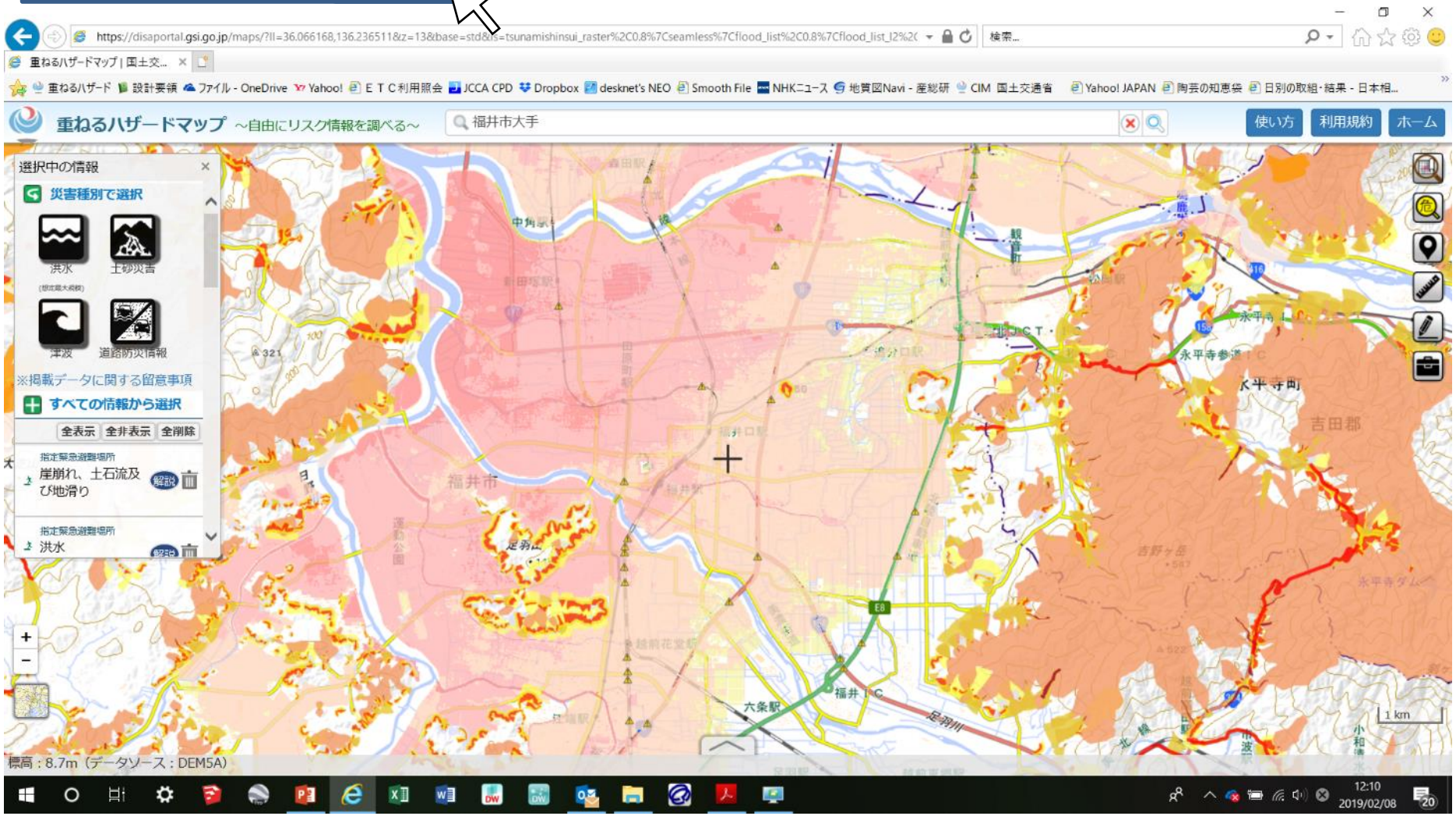
■水災保険に加入する　（被災後の生活再建）

浸水エリアの戸建て住宅、低層階の共同住宅は火災保険に「水災」を追加する。

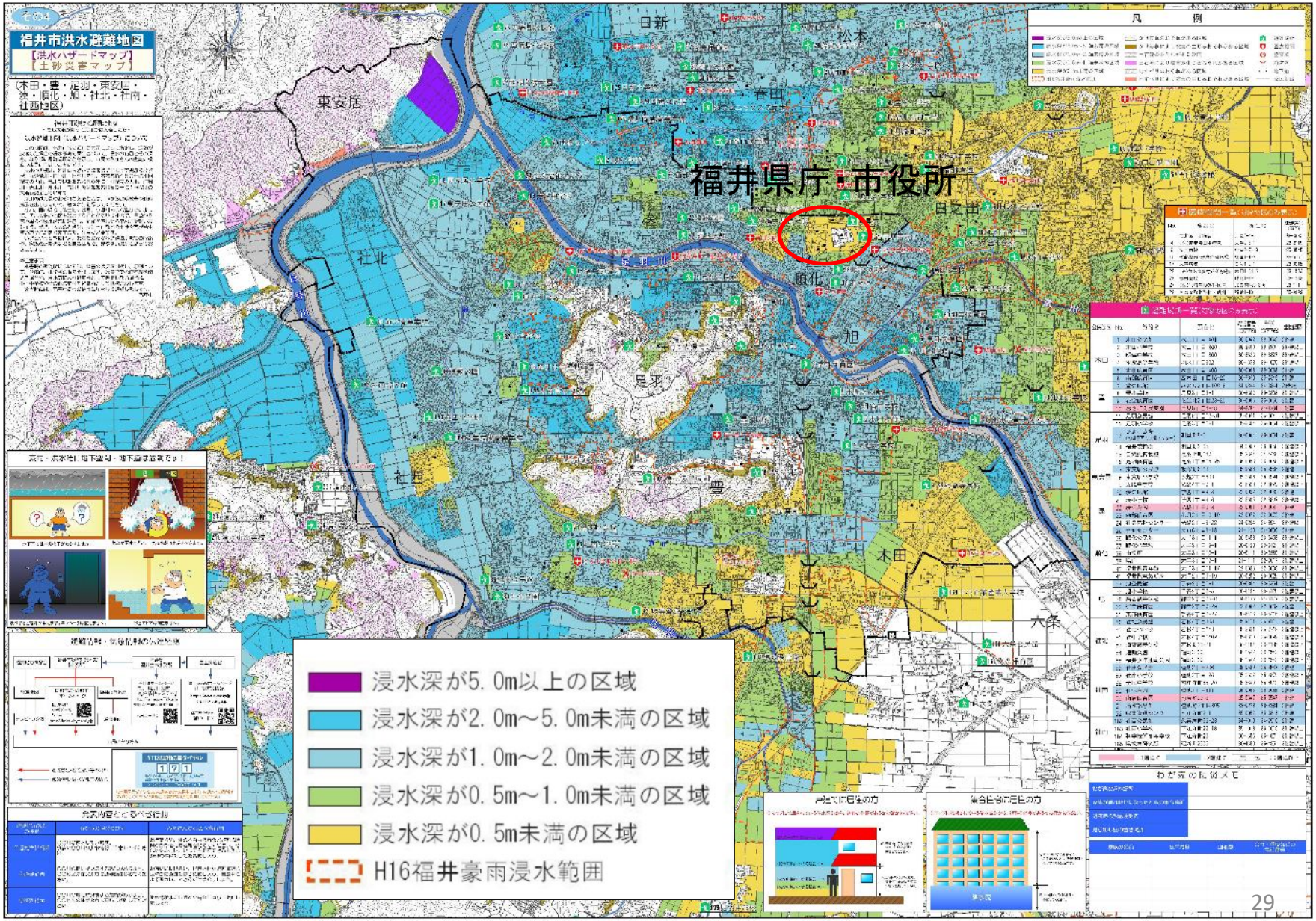
■安全な場所に住む

まずは、**自分の家、生活圏は安全なのか確認**する。国土交通省の重ねるハザードマップが分かり易くて簡単

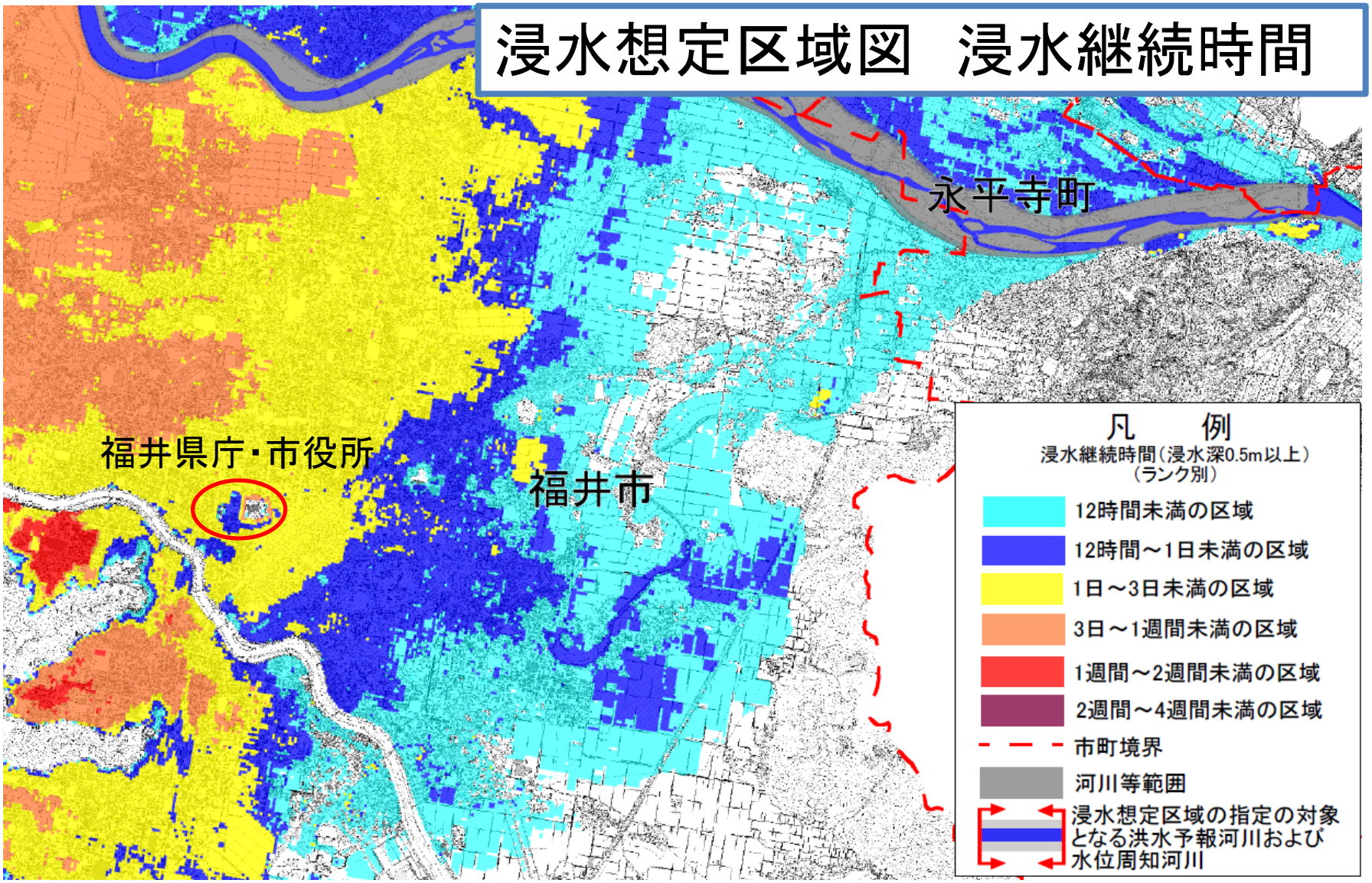
重ねるハザードマップ　検索



福井市ハザードマップ


福井市洪水避難地図
【洪水ハザードマップ】
【土砂災害マップ】
福井県庁・市役所
日新
松本
春田
東安居
社北
順化
旭
足羽
木田
六条
凡　例
浸水深が5.0m以上の区域
浸水深が2.0m～5.0m未満の区域
浸水深が1.0m～2.0m未満の区域
浸水深が0.5m～1.0m未満の区域
浸水深が0.5m未満の区域
H16福井豪雨浸水範囲

浸水想定区域図　浸水継続時間



私の住所遍歴とハザード

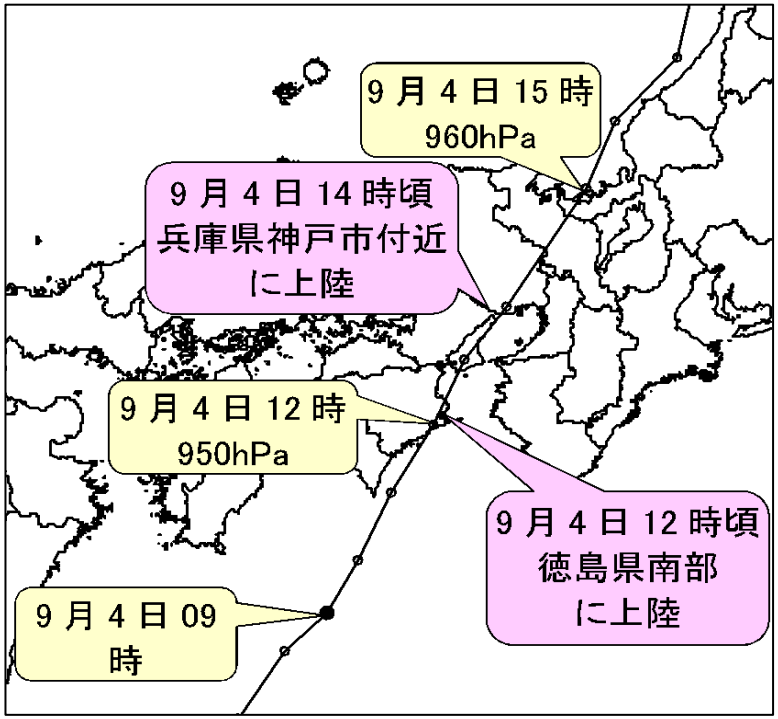
	住　所	浸水想定(水深m)	土砂災害	ハザード
①	富山県小矢部市（実家）	3	無し	洪水による浸水
②	福井市宝永	3～5	無し	洪水による浸水(1～3日間)
③	福井市花月	3～5	無し	洪水による浸水(1～3日間)
④	福井市春日	3～5	無し	洪水による浸水(1～3日間)
⑤	金沢市三口新町	段丘崖	危険	大雨や地震により、崖崩れなどの土砂災害のリスクがある
⑥	金沢市涌波1丁目（自宅）	0 (標高80m)	無し	河川氾濫のリスクはほとんどない 地盤は良く、地震の揺れや液状化のリスクは小さい 積雪が多め

（重ねるハザードマップにより確認）

■安全な時間帯に準備して避難する

H30　台風21号　時間降雨量

時刻 / 観測所名	13	14	15	16	17	18
三国	0.0	0.0	0.5	10.5	6.0	1.5
春江	0.0	0.0	2.5	12.5	8.5	0.5
越廼	0.0	1.5	5.5	25.0	0.5	1.0
福井	0.0	0.0	5.0	19.0	8.5	2.0
美山	0.0	3.0	9.5	24.5	4.5	3.5
勝山	0.5	4.0	13.5	24.0	7.5	1.5
武生	0.0	1.0	10.0	28.5	4.0	8.0
大野	1.0	4.5	13.0	27.5	7.0	6.0
九頭竜	2.0	7.0	22.5	29.5	32.5	5.0
今庄	1.5	4.0	13.5	41.0	3.5	13.5
敦賀	0.0	1.5	13.5	40.0	1.0	13.0
美浜	2.0	8.0	43.0	13.5	1.0	10.5
大飯	3.0	8.0	29.0	1.0	3.5	4.5
小浜	4.5	14.0	47.5	0.0	1.5	5.5

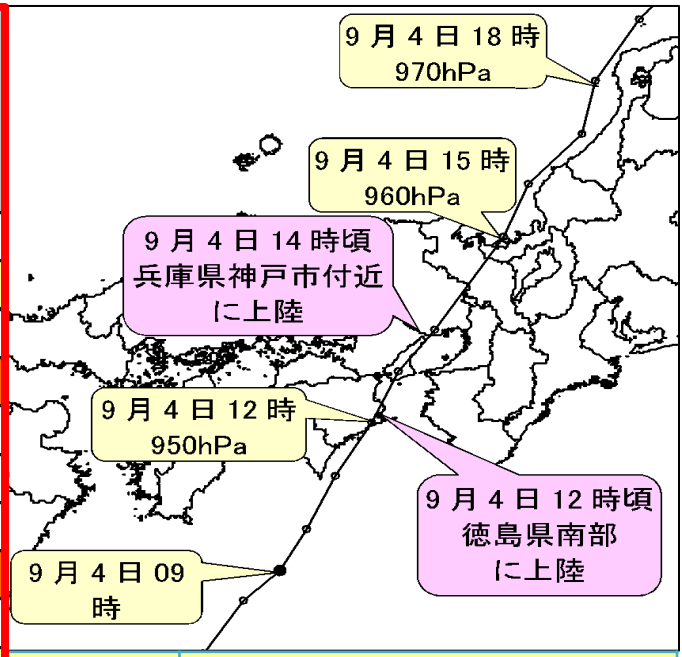


10mm/h	ザーザーと降る雨。
20mm/h	どしゃ降り。傘をさしても濡れる。
30mm/h	バケツをひっくり返したような雨。
50mm/h	滝のような雨。 傘は全く役にたない。

(参考：防災ネットラボ.com/kousuiryou)

H30　台風21号　風　速

観測所名	時刻	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
三国	風向	SSE	SSE	SSE	SSE	SE	SSE	SE	SE	ESE	E	SE
	風速	6.2	6.4	9.9	9.5	11.4	5.9	9.8	8.9	11.4	8.7	15.4
春江	風向	SSE	S	SSE	SSE	SE	SE	SE	SE	ESE	ESE	SSE
	風速	5.6	7.0	7.6	10.0	8.7	8.2	6.7	9.1	11.8	11.3	20.0
越廼	風向	WSW	WSW	SW	SW	NW	WSW	WNW	NNE	N	NNE	NNW
	風速	4.2	3.5	4.6	3.3	3.2	3.7	3.7	3.0	4.4	6.2	3.8
福井	風向	SSE	SSE	SSE	SSE	SE	SE	SE	SE	ESE	ESE	SSE
	風速	8.8	11.2	8.7	11.0	8.6	10.5	8.9	9.2	12.9	11.5	21.7
勝山	風向	ESE	SE	SE	SE	SSE	SE	SE	SE	ESE	ESE	SE
	風速	8.3	8.3	5.3	5.6	5.0	9.3	9.3	13.3	11.6	20.0	14.0
大野	風向	ESE	SE	SE	SSW	SSE	SSE	SE	SE	ESE	SE	SSE
	風速	3.3	2.9	1.7	0.8	3.2	9.0	6.3	8.3	10.8	13.3	12.2
今庄	風向	S	S	S	NNE	SSW	SSE	S	S	NNW	SSE	SSW
	風速	3.9	2.8	3.7	2.2	2.8	2.8	4.6	6.4	3.7	6.7	14.4
敦賀	風向	SSE	SSE	SSE	SSE	SSE	SSE	SSE	SE	SE	SE	SSE
	風速	11.1	9.1	10.7	9.9	13.3	10.0	16.9	11.1	15.0	20.9	17.6
美浜	風向	SE	SE	SSE	SE	SSE	SE	SSE	ESE	ESE	SE	SSW
	風速	4.4	5.1	5.3	2.7	3.6	5.4	4.7	7.6	8.3	12.3	6.3
小浜	風向	SE	SE	ESE	SE	SE	SE	SE	ESE	SE	SE	SSW
	風速	7.0	8.4	6.4	7.4	9.8	10.7	10.7	14.8	16.6	16.0	9.1

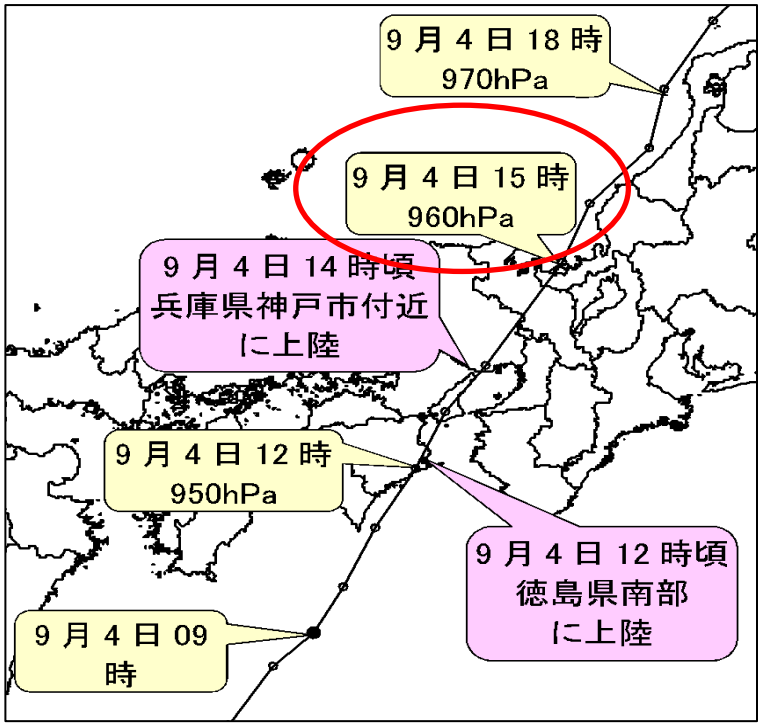


10m/s	樹木が激しく揺れ、電線などがぴゅうぴゅうと鳴る。雨傘が壊される。
15m/s	取り付けの悪い看板が飛ぶことがある。
20m/s	身体を60度くらいに傾けないと立っていられない。子供は飛ばされそうになる。
25m/s	屋根瓦が飛ばされる。樹木が折れる。煙突が倒れる。

(参考：https://yamakazu-sciense.info/wp/post-354/)

平成30年台風21号　警報発表

暴風警報(福井全県)　9月4日　6:35
大雨警報　11:22　浸水11市町　土砂災害10市町
大雨警報　15:41　土砂災害7市町
洪水警報　15:58　4(敦賀、美浜、小浜)
洪水警報　18:32　2(福井、勝山)

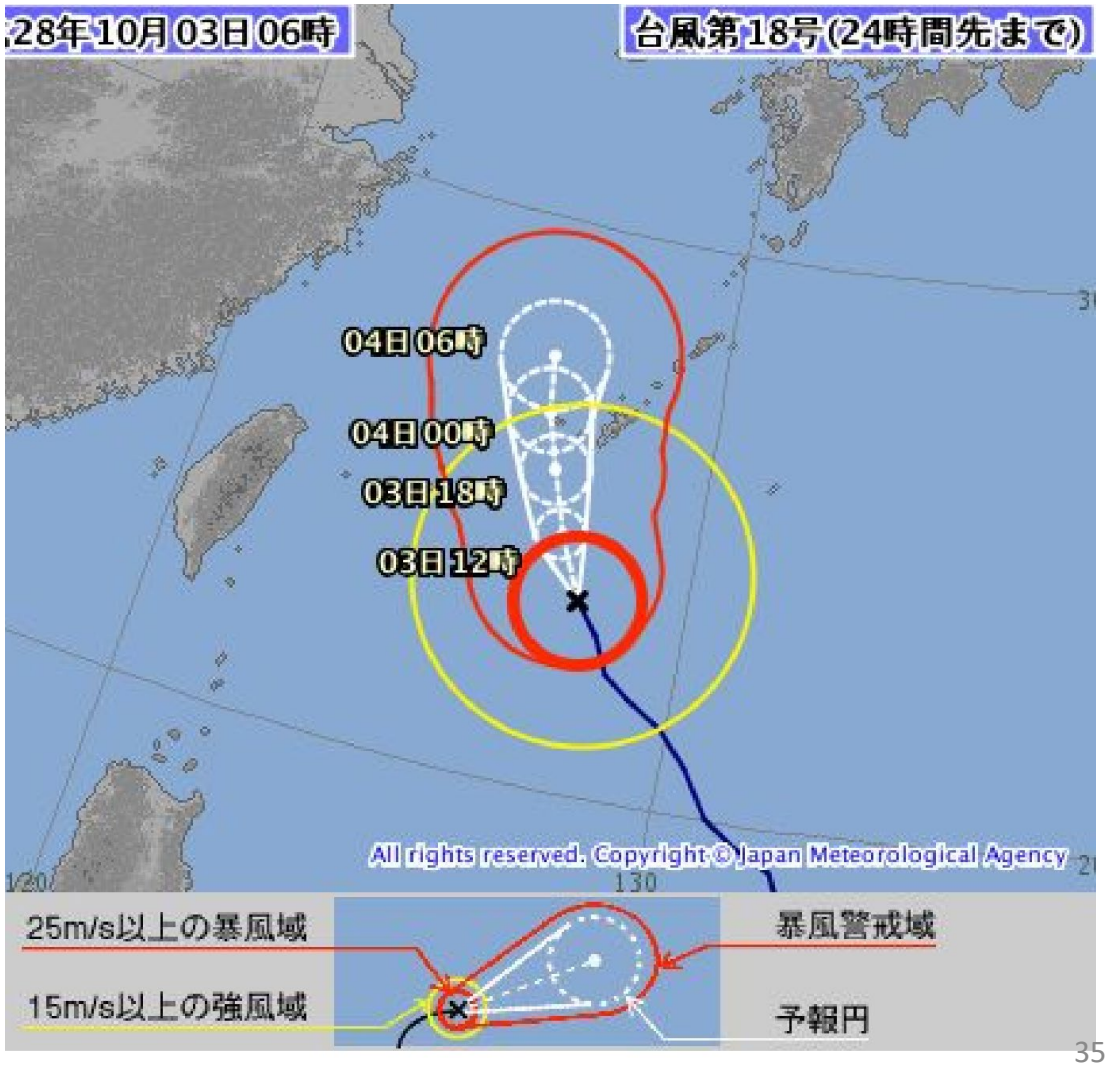


土砂災害警戒情報の発表

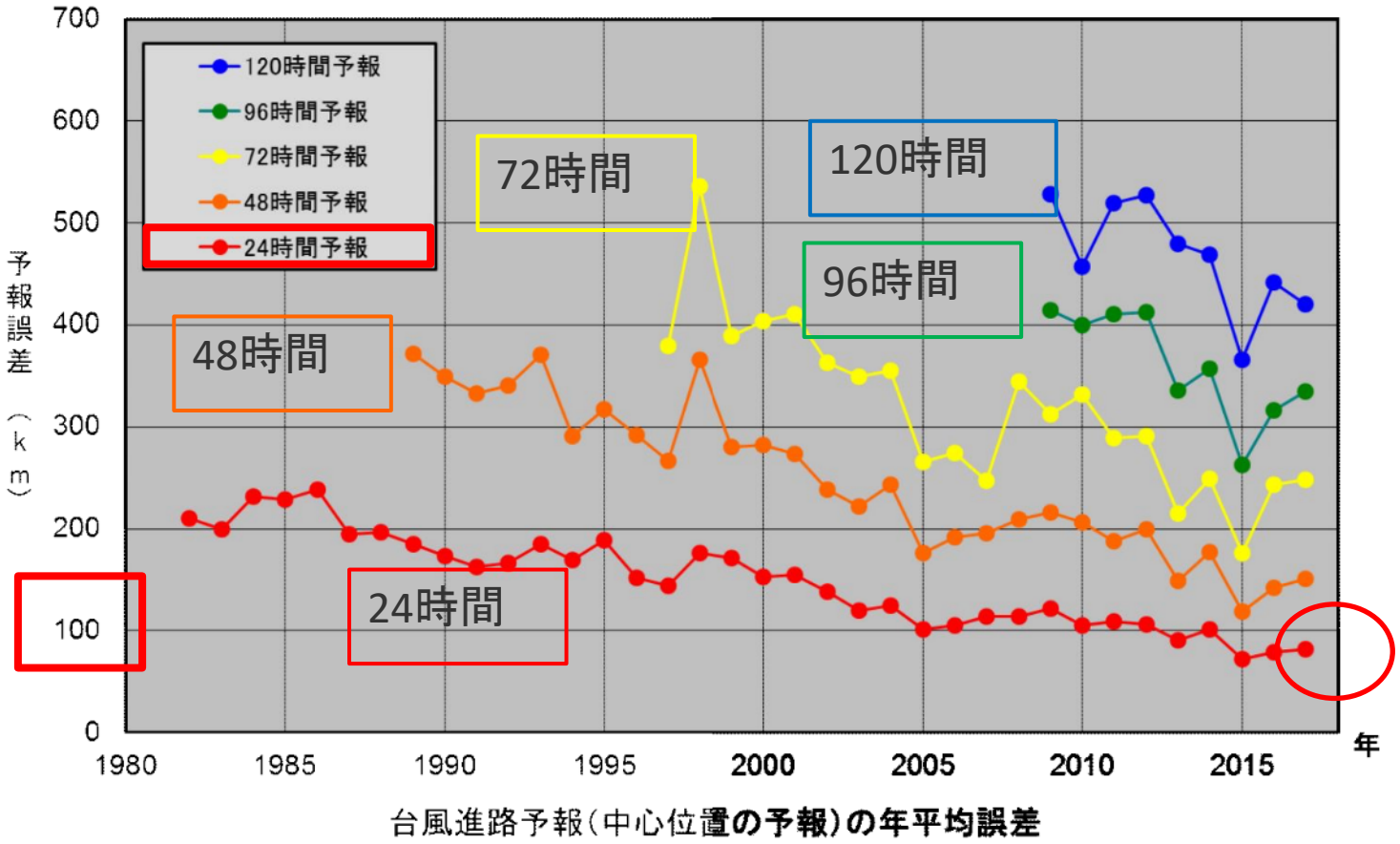
発表時刻	警戒対象地域	警戒解除地域
15:45	大野市、池田町、南越前町	
16:00	福井市、大野市、勝山市、越前市、池田町、南越前町	
19:50	南越前町	福井市、大野市、勝山市、越前市、池田町
20:35		南越前町

台風の進路予想は当たるのか

予報した時刻の円内に台風の中心が入る確率は70%



24時間予報の台風中心位置の平均誤差は100km以内



5. わが家の防災対策

「わが家の避難タイムライン」をつくり、スムーズに避難できるように備える
避難が不要な地域でも、停電対策、風による飛散対策が必要

わが家の避難タイムライン(避難までのスケジュール)

	気象・行政情報	屋外の状況	行　動	具体的内容の例	適用
3日前	台風接近予報		□気象情報入手 □避難のための準備 浸水継続時間を考慮 □避難所の確認 □避難所にもっていく物のリストを確認	・家財の避難　浸水しそうな位置にあるものを移動 ・ペットの避難方法を確認 ・家の周りの安全対策 流失・飛散・転倒防止 ・避難時の服装、靴、雨具 ・着替え、貴重品、薬etc.	
24時間前	大雨・洪水注意報	台風接近、 天候悪化	□避難の準備	・家財の移動、ペットの避難、家の外回りの確認 ・避難所に持って行くものをリュック等に詰める	
18時間前	大雨・洪水警報避難準備・高齢者等避難開始を発令 避難勧告発令	雨・風が徐々に強くなる	・避難を決定 ・避難開始	・自家用車の避難 ・親戚、会社、学校へ連絡	
強風、強雨の前、明るい時間帯に避難					
12時間前	大雨特別警報 避難指示(緊急)発令	強風、強雨	外は危険！ 避難完了していること		
6時間前	台風上陸	暴風雨			
1時間前	○○氾濫危険水位	暴風雨			
0時間前	○○川氾濫??	暴風雨 道路冠水、自宅周囲浸水　避難行動が生命の危険に			

●避難情報から発災までの時間

■平成27年9月関東・東北豪雨
鬼怒川　11:55　(最後の)避難指示　～約1時間～　12:50　鬼怒川が決壊
■平成17年福井豪雨
五十嵐川　11:40　避難勧告　～1.5時間～　13:10　五十嵐川が決壊
■平成17年福井豪雨
足羽川　13:05　(最後の)避難指示　～40分～　13:45　足羽川が決壊
■平成30年7月豪雨 (倉敷市)
7月6日
22:00　避難勧告「小田川水位上昇」(真備地区全域)
23:45　避難指示(緊急)(真備町小田川南側地域)　小田川南側越水
0:30　小田川氾濫発生情報　避難勧告から2.5時間
1:30　避難指示(緊急)(真備町小田川北側地域)

避難勧告・準備情報が出てから避難の準備をしていたのでは
安全に避難できない
自分で正確なリアルタイム情報をつかむ

●防災に関連する最新情報の簡単な入手方法

まずはスマホの「NHKニュース・防災アプリ」で概況を把握し、
詳細は気象庁、自治体のホームページで確認

●携帯電話で「緊急速報メール」を受信する

気象庁が配信する「緊急地震速報」「津波警報」および「特別警報」、国・地方公共団体が配信する「災害・避難情報」などを、対象エリアにいる携帯電話利用者に配信するサービス。

●洪水時に避難困難となった事例

0.5mの水深で大人でも避難が困難になった事例

・関川水害平成7年

関川水害における調査結果によれば、浸水深が膝（0.5m）の高さ以上になると、ほとんどの人が避難困難。

・東海豪雨平成12年

東海豪雨水害時にゴムボートなどで救助されて避難した時の浸水深は膝の高さ程度。

・伊勢湾台風昭和34年

伊勢湾台風の際に避難した人のアンケート結果では、浸水深が大人の男性で0.7m以上、女性で0.5m以上の場合に避難が困難。

はん濫した水は勢いが強い

はん濫した水は流れの勢いが強いので、水深が膝まであると大人でも歩くのが困難。

緊急避難として、高い堅牢な建物にとどまること選択肢の一つ。

はん濫した水は濁っている

はん濫水は、茶色く濁っており、水路と道路の境や、ふたが開いたマンホールの穴は見えない。

（「洪水ハザードマップ作成の手引き（改訂版）」に一部加筆）

■危険な場所を確認する　近づかない

洪水警報が出たら…

●地下空間に入らない

<u>地上の状況を把握しにくい</u>

地上の情報が入りにくく、状況の把握が遅れ避難の開始が遅れる。

<u>避難経路等が限定される</u>

地上出入口に流入水に逆らっての避難は困難。

<u>避難時間が少ない</u>

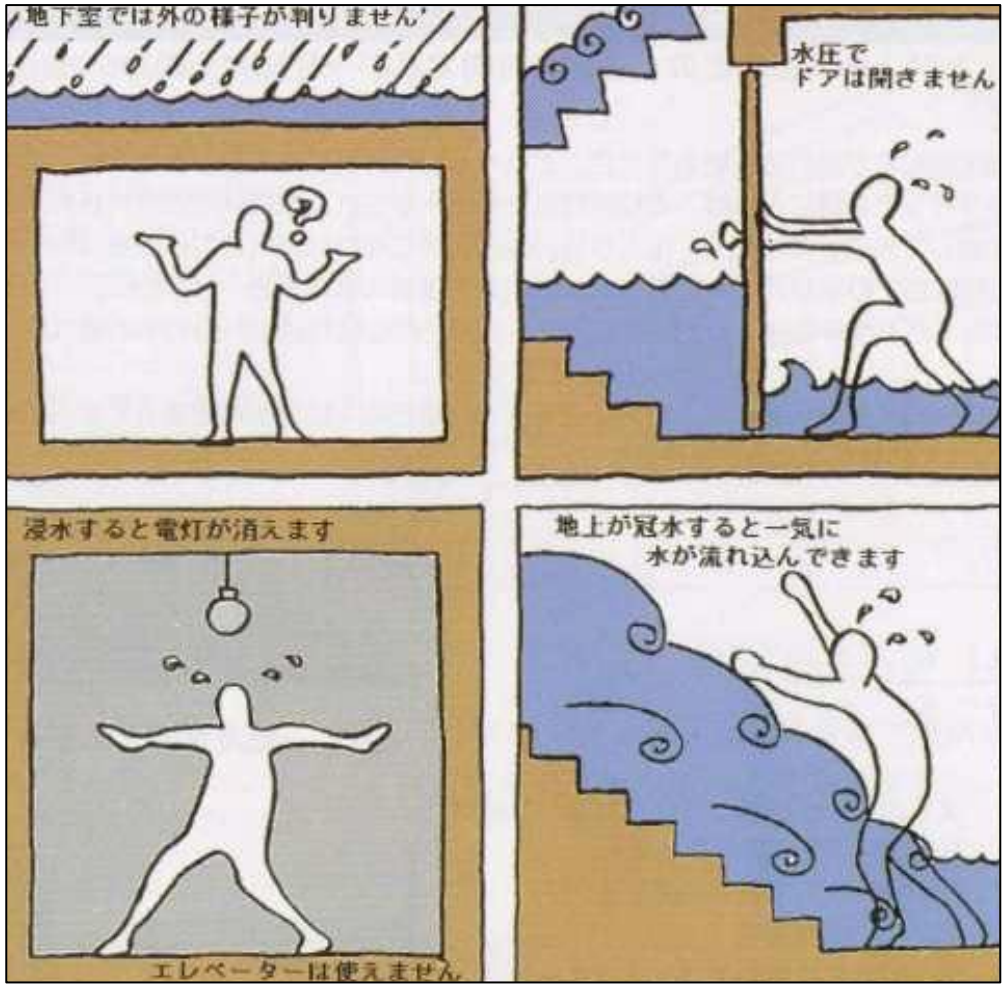
地上に比べて浸水スピードが速い。

水圧により扉が開かなくなる。

停電で視界不良。

避難困難となる危険がある。

（「洪水ハザードマップ作成の手引き（改訂版）」に一部加筆）



●冠水した道路は通らない

浸水深	自動車走行
0～10cm	走行に関し、問題はない。
10～30cm	ブレーキ性能が低下し、安全な場所へ車を移動させる必要がある。
30～50cm	エンジンが停止し、車から退出を図らなければならない。
50cm～	水圧でドアが開かなくなる。パワーウィンドウ停止。 車の中に閉じ込められ、車とともに流さる非常に危険な状態。

（千葉県HPより）

万一のための緊急脱出用ハンマー

緊急脱出用ハンマー

- 水没する車のドアを開くのは難しい
- 車の窓を破るのは容易ではない
- 緊急脱出用ハンマーを車内に備えて脱出しやすいようにする

(ケメ子のウェブログ、日本自動車連盟より)

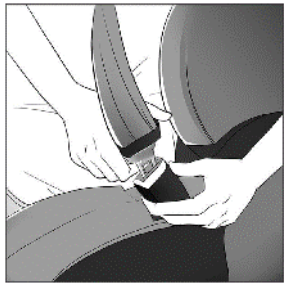
●大雨の時はアンダーパスを通らない

■平成28年9月に愛知県で冠水したアンダーパスに車が進入してしまい動けなくなって、運転者が亡くなる事故があった。他にも同様な事故あり。

■夜は冠水しているかどうかわからないので特に危険。

(参考：NHK シュト子の防災ナビより)

●水に浸かって動けなくなった車からの脱出方法



①シートベルトを外す
シートベルトを外す。バックルが壊れている場合は、脱出用ハンマーのカッターでシートベルトを切る。

②子供がいる場合、抱きかかえて脱出に備える。
車内に子供がいる場合、素早く前部座席に移動させ抱きかかる。
同じく脱出用ハンマーのカッターでベルトを切る。

③サイドウインドウを開ける・破る
着水直後は電気で動く場合あるが、開かない場合は脱出用ハンマーで割る。

④車から脱出する　(本当に出られるか要確認)
自分より先に子供を車内から出す。
搭乗者を全て車外に出してから、自分が最後に脱出。

(ケメ子のウェブログ、日本自動車連盟より)

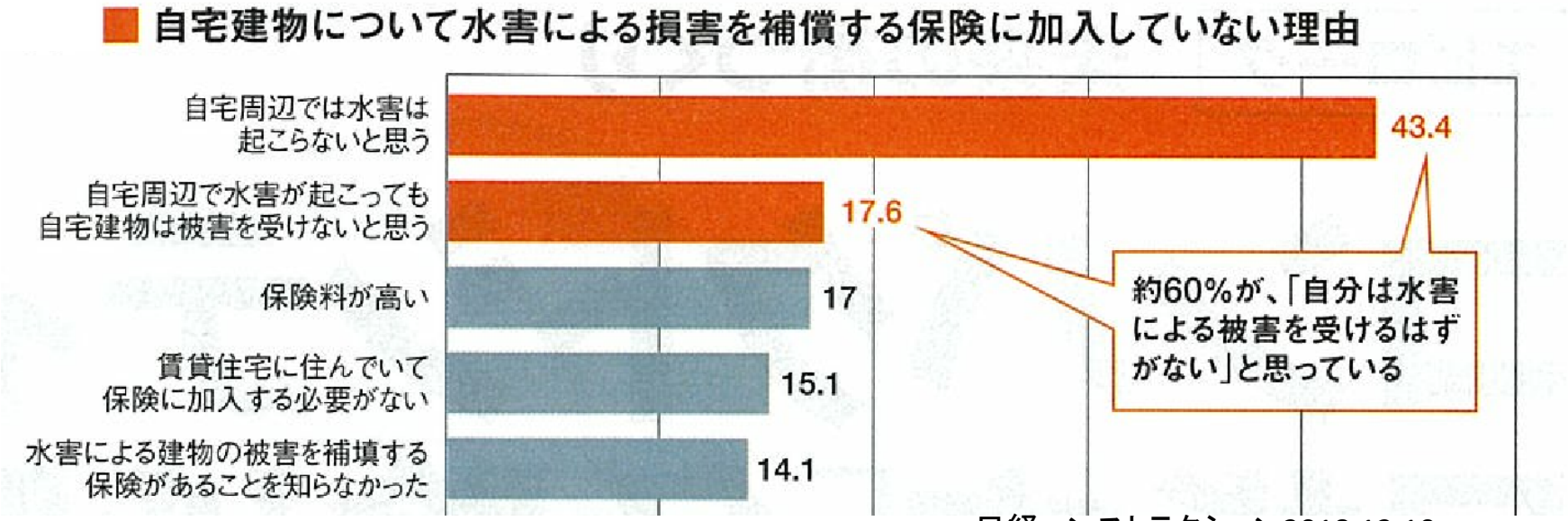
自家用車は高価な家財　水没に注意

■水災保険に加入する　保険金は生活再建に必要

●火災保険や共済の水災補償の加入率は31.1%

※「水害に対する備えに関する世論調査」2016年2月18日、内閣府

非加入の理由は
・自宅周辺では水害は起こらないと思う。
・水害が起こっても自宅は被害を受けないと思う。



日経コンストラクション2018.12.10

●水災保険費用の例

A火災海上保険　家庭総合保険

一戸建て　•水災アリ　295,620円　•水災ナシ　184,260円

差　額　111,360円

契約タイプ：フリー　東京都／木造新築80m²／保険期間10年
保険金額：建物1,500万円 家財700万円

マンション　•水災アリ　77,090円　•水災ナシ　63,060円

差　額　14,030円

契約タイプ：フリー　東京都／鉄筋コンクリート造新築60m²／保険期間10年
保険金額：建物1,500万円 家財700万円

(ピースネットホームページより)

わが家の火災保険の内容を今一度確認を！

豪雨災害から自分の命を守るために
１人でもできる防災対策のまとめ

- 自宅と行動範囲の災害リスクを確認する
- 氾濫・浸水想定地域から離れ安全な場所に住む(最善策)
- 安全な垂直避難ができる、頑丈な建物に住む(次善策)
- 浸水想定地域に住む(現状維持)
  - ・台風・豪雨の気象予報が出たら情報収集
  - ・わが家のタイムラインを作る　これに沿って避難行動
    「素振りの練習」は何度でも
  - ・警報が出たら、危ないところに絶対行かない
  - ・被災に備え、水災保険に加入

ご清聴ありがとうございました